



## 議題 1

報道機関 各位

記者発表資料  
 平成26年3月26日(水)  
 問い合わせ先：教育研究所  
 担当：山下・長田  
 電話：838-0781

小・中全学年を対象とした市独自の学習状況調査を実施します

平成26年度、さいたま市教育委員会は市独自の学習状況調査の対象を拡大し、教科に関する調査を小学校第3学年から、生活習慣などに関する調査を小学校第1学年から、すべての児童生徒を対象として行います。

また、全国で標準化された学力調査を、小学校第5学年から中学校第2学年で行います。

## 記

- 1 目的 児童生徒の学力や学習状況を、小・中9年間において、継続的に把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学力向上やよりよい生活習慣の形成に役立てる。
- 2 調査の対象 さいたま市立小・中・特別支援学校の全児童生徒
- 3 調査の概要  
 (1) 「教科に関する調査」及び「生活習慣等に関する調査」

| 対象学年 |     | 調査          | 教科             | 生活習慣等  |
|------|-----|-------------|----------------|--------|
| 小学校  | 1年生 |             |                | 全学年で実施 |
|      | 2年生 |             |                |        |
|      | 3年生 | (新規)市独自     | 国語、算数          |        |
|      | 4年生 | (新規)市独自     | 国語、算数          |        |
|      | 5年生 | 市独自         | 国語、社会、算数、理科    |        |
|      | 6年生 | 全国学力・学習状況調査 | 国語A・B、算数A・B    |        |
| 中学校  | 1年生 | (新規)市独自     | 国語、数学          |        |
|      | 2年生 | 市独自         | 国語、社会、数学、理科、英語 |        |
|      | 3年生 | 全国学力・学習状況調査 | 国語A・B、数学A・B    |        |

・実施日 平成26年4月22日(火)

- (2) 「全国で標準化された学力調査」
  - ・「全国で標準化された学力調査」とは、児童生徒の学力を、全国的な学力水準と比較して、相対的に把握・分析できる調査
  - ・対象学年 小学校第5学年から中学校第2学年
  - ・調査方法 抽出調査(各学年1,000名程度)
  - ・実施時期 平成27年3月(予定)

小・中全学年を対象とした  
市独自の学習状況調査を実施します

さいたま市教育委員会

# 市独自の学習状況調査の対象を拡大します

平成25年度

|    | 教科 | 生活 |
|----|----|----|
| 小1 |    |    |
| 小2 |    |    |
| 小3 |    |    |
| 小4 |    |    |
| 小5 | 市  | 市  |
| 小6 | 国  | 国  |
| 中1 |    |    |
| 中2 | 市  | 市  |
| 中3 | 国  | 国  |



平成26年度

|    | 教科 | 生活           |
|----|----|--------------|
| 小1 |    | 市            |
| 小2 |    | 市            |
| 小3 | 市  | 市            |
| 小4 | 市  | 市            |
| 小5 | 市  | 市            |
| 小6 | 国  | 国 ※市独自の調査も実施 |
| 中1 | 市  | 市            |
| 中2 | 市  | 市            |
| 中3 | 国  | 国 ※市独自の調査も実施 |

小・中全学年の  
すべての児童生徒を対象

- 教科に関する調査  
小学校3年生から実施
- 生活習慣等に関する調査  
小学校1年生から  
全学年で実施

## 平成26年度 全児童生徒を対象とした調査の概要

| 対象学年 |     | 教科 |                | 生活習慣等  |
|------|-----|----|----------------|--------|
| 小学校  | 1年生 |    |                | 全学年で実施 |
|      | 2年生 |    |                |        |
|      | 3年生 | 市  | 国語、算数          |        |
|      | 4年生 | 市  | 国語、算数          |        |
|      | 5年生 | 市  | 国語、社会、算数、理科    |        |
|      | 6年生 | 全国 | 国語A・B、算数A・B    |        |
| 中学校  | 1年生 | 市  | 国語、数学          |        |
|      | 2年生 | 市  | 国語、社会、数学、理科、英語 |        |
|      | 3年生 | 全国 | 国語A・B、数学A・B    |        |

「市」…市独自調査、「全国」…全国学力・学習状況調査

|     |               |
|-----|---------------|
| 実施日 | 平成26年4月22日(火) |
|-----|---------------|

## 新たに実施する「教科に関する調査」のねらい



|     | 平成26年度  |
|-----|---------|
| 小学校 | 3年生【市】  |
|     | 4年生【市】  |
|     | 5年生【市】  |
|     | 6年生【全国】 |
| 中学校 | 1年生【市】  |
|     | 2年生【市】  |
|     | 3年生【全国】 |

小学校1年生、2年生における  
基礎学力の定着状況等を把握

小学校3年生における  
基礎学力の定着状況等を把握

小学校の学習内容の基礎的事項の  
定着状況等を把握

児童生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばす指導  
「つまずき」を踏まえた指導

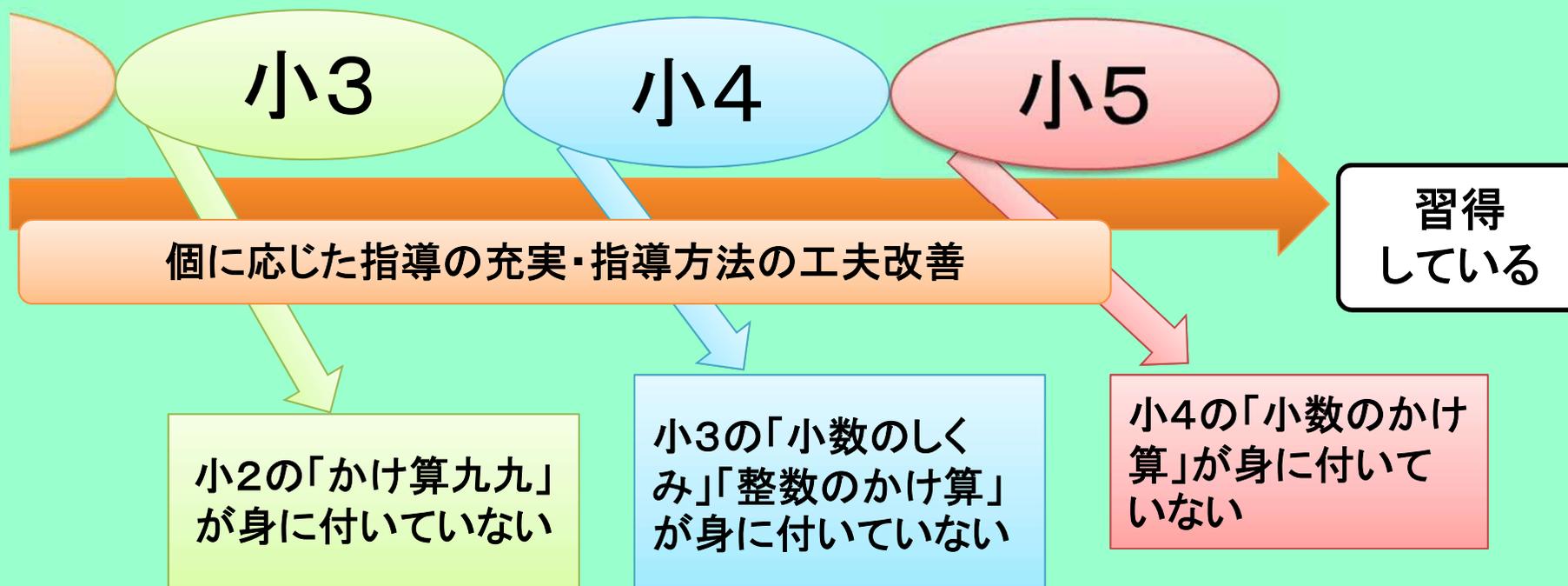
# 「教科に関する調査」 小学校3年生から実施する理由



(例)【算数「数と計算」の内容】

【平成25年度さいたま市学習状況調査(小5)の調査結果】

$3.8 \times 59 = 224.2$  (小数のかけ算) 正答率 52.8%



児童生徒のつまずきを継続的に把握し、指導方法の工夫改善を図る。

## (例)【国語 漢字の学習】



| 学 年         | 小1  | 小2  | 小3  | 小4  | 小5  | 小6  |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 配当漢字の数(字)   | 80  | 160 | 200 | 200 | 185 | 181 |
| 国語の授業時数(時間) | 306 | 315 | 245 | 245 | 175 | 175 |

### 【平成25年度さいたま市学習状況調査(小5)の調査結果】

漢字を書く・・・「**親切**」(どちらも小2で習う漢字) 正答率 **56.3%**

早い段階から実態を把握し、児童生徒一人ひとりに応じた指導の充実に役立てる。

# 調査結果個人票を配付します

イメージ

調査結果【小学校】個人票

個人票(その1)

5年 組 番名前

国語 社会 算数

| 学年 | 大問 | 小問   | 正答率(%) | 自分                  | 国語                             | 社会                             | 算数                                     |
|----|----|------|--------|---------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 1  | 第一 | 第一   | 59.7   |                     | 物事のよさやわるさをとらえて、短い文章をよんで適切に書ける。 | (1) 87.7                       | 計算で学校のまわりの問題を解くときに必要なものを判断することができる。    |
|    |    | 第二   | 82.8   |                     | 物語上の登場人物の役割がわかる。               | (2) 75.5                       | 地図記号を理解し、方位を書けることができる。                 |
|    | 第二 | 第一   | 40.1   |                     | 文章を注意しながら読み、あらすじをまとめることができる。   | (3) 82.2                       | 方位と地図記号をともに、地図を読み取ることもできる。             |
|    |    | 第二   | 89.8   |                     |                                | (4) 81.0                       | 乗算シートと地図記号を組み合わせ、正しい読み書きを導くことができる。     |
|    | 第二 | 第一   | 57.4   |                     | 文章を読んだ感想を、条件に応じて書くことができる。      | (5) 75.9                       | 分数に連った地図記号を考案することができる。                 |
|    |    | 第二   | 79.5   |                     |                                | (6) 77.7                       | 考案した地図記号について、その理由を書けることができる。           |
|    | 第二 | 第一   | 82.3   |                     | 第4学年までに学習した漢字を覚えている。           | (1) 91.0                       | お家さんの願いに答えるための、スーパーの工夫を考案することができる。     |
|    |    | 第二   | 83.7   |                     |                                | (2) 91.7                       | お家さんの願いに答えるスーパーの工夫の読み書きを考案することができる。    |
|    | 第二 | 第一   | 80.8   |                     | 第4学年までに学習した漢字を覚えている。           | (3) 73.9                       | スーパーが身を守り、防犯している理由について考え、言葉で書けることができる。 |
|    |    | 第二   | 56.3   |                     |                                | (1) 66.2                       | 二つのグラフを比べて読み取ることもできる。                  |
| 第二 | 第一 | 78.5 |        |                     | (2) 74.1                       | グラフや表のほかに書き読み取ることもできる。         |  |
|    | 第二 | 85.6 |        |                     | (3) 84.6                       | 本を大図にするなどについて、自分の考えを書けることができる。 |  |
| 第二 | 第一 | 84.9 |        | 文中における主語と述語との関係を正しく | (1) 90.3                       | 夢の道具について理解している。                |  |
|    | 第二 | 70.8 |        |                     |                                |                                |  |
| 第二 | 第一 | 86.5 |        |                     |                                |                                |  |
|    | 第二 | 87.0 |        |                     |                                |                                |  |
| 第二 | 第一 | 89.5 |        |                     |                                |                                |  |
|    | 第二 | 90.2 |        |                     |                                |                                |  |
| 第二 | 第一 | 90.3 |        |                     |                                |                                |  |
|    | 第二 | 55.4 |        |                     |                                |                                |  |
| 第二 | 第一 | 67.5 |        |                     |                                |                                |  |
|    | 第二 | 86.7 |        |                     |                                |                                |  |
| 第二 | 第一 | 58.1 |        |                     |                                |                                |  |
|    | 第二 | 50.9 |        |                     |                                |                                |  |
| 第二 | 第一 | 56.1 |        |                     |                                |                                |  |
|    | 第二 | 50.6 |        |                     |                                |                                |  |

平成25年度 さいたま市学習状況調査【小学校】さいたま市全体の領域別正答率(%)

個人票(その2)

5年 組 番名前:

※ 自分の結果をグラフに表しておきましょう。  
※ 自分の正答率は次のように求められます。  
正答率 = (自分の正答数(口の数) ÷ 問題数) × 100  
例 国語  
全体の正答率 = (国語の正答数(口の数) ÷ 26) × 100  
読むことでの正答率 = (読むことでの正答数(口の数) ÷ 9) × 100

【国語】

□全体の平均正答率は、71.2%でした。  
□「読解的な言語文化と図説の挿入に関する事項」の国語は、正答率は82.4%でしたが、65.4%～90.8%。2桁までの差が広がりました。  
□書くことの問題は、大まか全体から中心となる次を明確にして書くことがむずかしかったようです。

一市 自分

読むこと 64.8

71.2 全体

82.4 書くこと

52.4 話すこと

66.9 読解的な言語文化と図説の挿入に関する事項

平成26年度から「学びの向上シート」を見童生徒に配付します。

見童生徒は、自分のよさや課題が分かるようになります。

見童生徒が自らの適切な目標をもって学習意欲を高められるようにします。

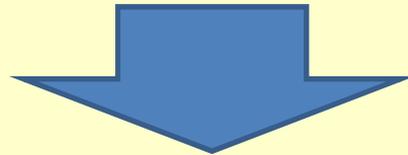
# 「生活習慣等に関する調査」

## 全学年で実施する理由

例) 「朝食を毎日食べている。」と回答した児童生徒の割合(%)

平成25年度の調査結果

| 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5   | 小6   | 中1 | 中2   | 中3   |
|----|----|----|----|------|------|----|------|------|
| ?  | ?  | ?  | ?  | 87.7 | 89.7 | ?  | 85.7 | 86.0 |



全学年で実態を把握することで、大きな変化が見られる学年の児童生徒に直接指導したり、保護者への啓発をしたりすることができるようになります。

# 「生活習慣等に関する調査」

|     | 学年     | 質問項目の例 ※予定  |
|-----|--------|---|
| 小学校 | 全学年で実施 | <p>「朝食を毎日食べていますか。」</p> <p>「家の人と学校での出来事について話していますか。」</p> <p>「家や図書館で、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」</p>   |
|     |        | <p>※市独自</p> <p>「毎月23日を、ノーテレビ・ノーゲームデーにしていますか。」</p> <p>「運動やスポーツをどのくらいしていますか。」</p> <p>「困ったり、悩んだりしたときには、だれかに相談したいと思いませんか。」</p> <p style="text-align: right;">など</p> |
| 中学校 |        |   |

全国学力・学習状況調査の質問項目に加えて、市独自の質問項目を設けて調査し、実態を継続的に把握・分析する。

# 「全国で標準化された学力調査」を実施します

- ・小5～中2を対象
- ・抽出調査  
(各学年1,000人程度)

「全国で標準化された学力調査」とは  
児童生徒の学力を、全国的な学力水  
準と比較して、相対的に把握・分析でき  
る調査

## 調査結果の活用例：領域ごとの状況を比較

### 仮の数値

| 領域    | 市独自の調査の<br>平均正答率(%) | 全国で標準化され<br>た調査の得点(全<br>国を100とする) |
|-------|---------------------|-----------------------------------|
| 数と式   | 76.1                | 105                               |
| 図形    | 72.3                | 102                               |
| 関数    | 66.1                | 108                               |
| 資料の活用 | 69.0                | 100                               |

「関数」  
「数と式」に比べ、市  
独自の調査の平均正  
答率は低いが、全国  
で標準化された調査  
の得点は高い。

市独自の調査の平均正答率と併せて分析し、本市の児童生徒の  
学力を把握する指標とします。

## 平成26年度 本市における学力・学習状況調査

①「教科に関する調査」を小3から中3まで実施

②「生活習慣等に関する調査」を小1から全学年で実施

③「全国で標準化された学力調査」を実施